



特定非営利活動法人
VAICコミュニティケア研究所

〒263-0051 千葉県稲毛区園生町 1107-7
【Tel】043-290-8015 【Fax】043-290-8016
【E-mail】info@vaic-cci.jp
【URL】http://www.vaic-cci.jp/
2012年10月発行
【発行責任者】佐々部 憲子

名称が新しくなりました！ 以後よろしくお願いします！

私たちは「地域をつなぐ・人をつなぐ・心をつなぐ」をキーワードとして、さまざまな事業や活動に取り組んでいます。ニュースレターつなぐ〜るでは、今後も取り組み事業や活動情報、活動のようすをわかりやすく、読みやすい紙面でお届けします。

◆「会報」電話アンケート実施◆

昨年度12月～1月にかけて県内20市から無作為に選んだ88名の方を対象に会報について電話によるアンケートを実施しました。突然の電話で回答に困られた方もいらっしゃると思いますが、ご協力いただいた皆さん、貴重なご意見をありがとうございました。



＜アンケート結果（抜粋）＞

	はい(ある)	いいえ(ない)
いつも会報を読んでいますか？	65	23
読んでいると答えた方 65 人について		
①活動状況で関心を持った内容がありますか？	25	40
③企画に参加したいと思ったことはありますか？	27	38
④企画に参加したことはありますか？	9	56
⑤ボランティアに参加したいと思ったことはありますか？	29	36
⑥ボランティアに参加したことはありますか？	9	56
⑦HP をご覧になったことはありますか？	8	57

- あまりインターネットを利用しないためHPやブログを閲覧したことがない方が多く、当団体からのお知らせをお伝えするために紙面を使った情報ツールも大切であることがわかりました。
- ボランティア活動や講座、学習会、イベントなどの企画に参加したいという気持ちがあっても実際に参加した人は少ないようです。「なないろえんぴつ」・「ニュースレター つなぐ〜る」やHPなどで、新鮮な情報をお伝えしていきたいと思います。
- 文字の大きさやレイアウトにも配慮し、読みやすい紙面を心がけます。
- 皆さんが読みたくなる記事やコーナーを随時企画してきます。ご意見・ご要望などありましたら、ぜひお知らせください。



これからも、「ニュースレター つなぐ〜る」をよろしくお願いします！



生活クラブいなげビレッジ虹と風で
千葉市からの委託で「こどもカフェ」モデル事業をスタート！

こどもカフェ ^{さーと} 3rd フレイズ 虹 10月オープン！

子供たちに信頼される大人が見守る中で、一緒に勉強したり、仲間と遊んだり、
時にはひとりで読書したり…子供たちにとって安心安全で居心地のよい場所です。

「こどもカフェ」は、学校でも家庭でもない地域の中の第三の居場所として、
千葉市の次世代育成支援行動計画に位置付けられています。

すでに、千葉市はこの「こどもカフェ」モデル事業を2011年9月より、
高洲保健センター跡地施設1階の交流スペースで、学校法人植草学園に
運営を委託し、土日を中心に月3～4回実施しています。

そして今回の稲毛区園生がふたつ目のモデル事業となりました。



対 象

小学校高学年～高校生

オープン時間

平日 14:00～19:00 (原則：毎週火曜日)
土日 10:30～15:30

【オープン日程は右ページ】

利 用 料

無料 (ただし、イベント参加は実費)

場 所

生活クラブいなげビレッジ虹と風 虹の街いなげ2F 地域活動スペース虹
(千葉市稲毛区園生 1107-7)



◆いなげビレッジ虹と風でやることのメリット◆

生活クラブいなげビレッジの虹と風では、多機能拠点として生活クラブ
千葉グループの 6 団体がさまざまな事業を展開していますが、VAIC-CCI
が「こどもカフェ」をスタートさせることで、新たな機能が加わることになります。
あかちゃんから高齢者まですべての世代が、ここで出会い、つながり、
交流が生まれることでしょう。



【座ったと思ったら腕相撲が始まる…】



【学生のボランティアと楽しく…】

◆「こどもカフェ」で私たちができること◆

「こどもカフェ」は、学校でもなく家庭でもない地域の中の第三の居場所であると同時に、子どもたちが地域での人間関係を作る新たな場所でもあります。子どもたちが、自由に出入りし、信頼のできる大人の見守る中で、少しずつスタッフとの信頼関係を築き、親にも先生にも友達にも相談できない悩みや課題を話すことができるようになって考えています。子どもの話に向き合い、じっくりと聴くことで子ども自身が解決策を導きだすよう促します。また子ども自身で解決できないことや、急を要する場合などは関係機関につなぎ、解決方法を見出していきたいと思っています。

<こどもカフェ 10・11月の予定>

オープン日

10月 2日(火)
9日(火)
16日(火)
27日(土) イベント
11月 6日(火)
13日(火)
20日(火)
24日(土) イベント

楽しい企画・イベント開催します

◆デジカメ教室

10月27日(土) 10:30~12:00

参加費：無料

持ち物：デジカメ・携帯・DS・・・など

*手ぶらでもOK(こちらで用意します)

◆11月17日(土) 街・たんけん隊(予定)



平成24年度の厚生労働省の社会福祉推進事業に「生活福祉資金貸付事業における自立支援に関する調査研究事業」について応募し、採択されました。

今回採択された調査研究は、平成21年10月に借入条件が大幅に改善された生活福祉資金貸付について、その改正から約3年が経過した現在までの貸付状況について全国の社会福祉協議会に対してアンケート調査を実施し集計分析をするものです。また、私たちは、平成20年8月より、千葉県の委託事業として多重債務者等への相談事業、生活再建支援相談事業を実施してきましたので、相談のから見てくる相談者の実態と重ね合わせて、生活困窮者が必要としているセーフティネットについて考察します。



追加日程のお知らせ

～独立行政法人福祉医療機構 WAM 助成事業～



家計簿管理学習会 ～健全な家計管理のための学習会～



<学習内容>

- 1ヶ月の家計管理により、家族の将来設計、必要経費の見通しを立て将来に備える方法
- 手軽に使えるカードの落とし穴
- リボ払いについて・・・など

<持ち物>

- 筆記用具
- 講座内で使用する家計簿(冊子・CD)と電卓はこちらで用意します【終了後、電卓と家計簿はお持ち帰りいただけます】
- <資料代>200円

開催月日	時 間	会 場
10/25(木)	10:00~12:00	生活クラブ風の村さくら
10/25(木)	10:00~12:00	千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所 稲毛区ボランティアセンター(稲毛保健福祉センター内)
11/2(金)	13:00~15:00	野田市北コミュニティ会館 第一集会室
12/10(月)	10:00~12:00	生活クラブ風の村 特養ホーム八街 会議室
1月	柏方面 詳細準備中	



素敵なボランティア活動をしている方をご紹介します

わたしのボランティア No. 21

風の村でのボランティア～人や社会とのつながりを実感します～

私は、知人の勧めで風の村でボランティアを始めて約3年になります。活動内容は、デイサービスの利用者さん達とお話をする事です。私は自分から話すことが苦手で、ボランティアを始めた頃は戸惑う事も多くありました。



例えば、利用者さんとの話のきっかけがつかめず、沈黙が続いたり、一言で話が途切れてしまうことがよくありました。しかし、活動が続ける中で、利用者さん達と一緒にゲームや歌を歌う機会が増え、それがきっかけで、徐々に利用者さんと自然に会話ができるようになりました。何か話さなければと考えすぎるよりも、利用者さんと様々な活動を一緒に楽しむこと、楽しい時間を共有したいという気持ちの大切さに気がつきました。

また、毎週水曜日の午後は、アルルカンで利用者さん達と編み物クラブに参加して、編み物をしながら会話をしています。編み物初心者ですが、利用者さんに励まされながら進めています。

風の村で、様々な方々と関わる中で、新しい発見や学ぶことがたくさんあり、視野が広がったように思います。そしてボランティア活動を通して人や社会とのつながりを認識し、社会参加につながっていると感じました。今は、テーブルを



囲んで複数の方と話すことが多いのですが、これからは1対1でじっくり会話する機会を増やすなど、様々な視点を持ち、笑顔を大切に活動が続けたいと思います。

(鈴木香織 30代)

八街焼

食欲の秋・実りの秋到来！
食卓のヒントに！

今月のレシピ

「鮭としめじの秋チャーハン」

(材料 1人分)

- ・ごはん — 茶碗1杯
- ・焼き鮭 — 1切
- ・ネギ — 1/3本
- ・しめじ — 1/3個
- ・溶き卵 — 1個
- ・塩こしょう — 少々
- ・酒 — 大さじ1/2
- ・ごま油 — 適量

- ① 焼き鮭はほぐし、ネギはみじん切り、しめじは1センチほどの大きさに切っておく。
- ② フライパンにごま油を熱し、ネギ、しめじの順に炒めて塩こしょうで味付けする。
- ③ ごはん・酒を加えて更に炒め、ごはんを端に寄せ、空いたところに溶き卵を流し込んで卵だけをサッと混ぜたらごはんと一緒に混ぜる。
- ④ ほぐした鮭を加え、塩こしょうで味を整える。



「つなぐ」「つながる」

〇〇教室の参加者。第1回目は緊張気味、第2回目に少し和やかになり、第3回目には30分も早く来てスタッフと会話を楽しんでいる。「この教室で習ったことを考えて生活するようになったの」「このような集いでお友達を探したいの」「一人だからがんなばらないといけないの」こんな声が聞こえるようになった。

公園のベンチで過ごしている姿を度々見かける方に「お暑いですね」と声をかけてみた。「体力が低下しないように、毎日散歩しているんだよ。日中は出来るだけ外で過ごしているんだよ。」夕方公園のベンチに座っている。「まだ暑いですが大丈夫ですか」と声をかけたところ、「大丈夫だよ、ありがとう」と声が返ってきた。この地域の人と“つながる”ことができたのかなと、ほっとしたひと時だった…♡

スタッフの
ちょっとカフェタイム

(K. S)

